

AD-8117A

コンパクト・プリンタ

imno-8117-048-j-V.1

取扱説明書



AND 株式会社 エー・アンド・デイ

目 次

1 概 要	1
1.1 はじめに	1
1.2 構 成	1
1.3 各部の名称	2
2 取扱方法	3
2.1 準 備	3
2.1.1 入力を選択	3
2.1.2 接 続	5
2.1.3 電源の供給	7
2.1.4 記録紙のセット	9
2.2 AD-8117	10
2.2.1 モード切換	10
2.2.2 キースイッチの動作	10
2.2.3 印字データ	11
2.2.4 統計演算	11
2.3 AD-8117A	13
3 仕 様	14
3.1 一般仕様	14
3.2 入力仕様	14
4 保 守	16
4.1 使用上の注意	16
4.2 保 守	16

1 概 要

1.1 はじめに

AD-8117(A)は、RS-232Cまたはカレント・ループ入力によるコンパクトプリンタで、エー・アンド・デイの重量インジケータ、FX、ER、EKなど電子天びんと組合せてデータ処理のできるAD-8117と、その他の機器の外部プリンタとして使用できるAD-8117Aとがあります。

特 長

- コンパクトで乾電池で動作しますので、どこでも使えます。
- RS-232Cの他、カレント・ループでの使用ができます。
- 50mの記録紙を標準装備。
- 乾電池で連続2万行印字できます。
- ACアダプタの使用も可能です。
- 標準偏差も含む統計演算機能をもっています。(AD-8117のみ)

1.2 構 成

コンパクト・プリンタ本体	1体
専用接続ケーブル (RS-232C用 1m)	1本
記録紙 (50m)	1巻
記録紙軸	1本
記録紙カバー	1個
アルカリ乾電池 (単Ⅲ)	4本
外部スイッチ用プラグ	1個
取扱説明書	1部

オプシオン

OP-01	カレントループ用アダプタケーブル (50cm)
OP-02	ACアダプタ

別売アクセサリ

記録紙 (PP128)	全長50m	6巻1組
フットスイッチ (SW:128)		

1.3 各部の名称

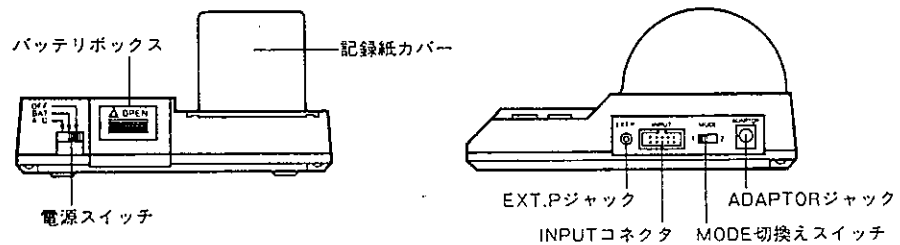
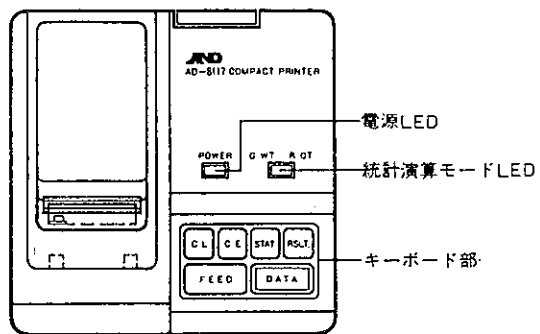


Fig.1

AD-8117Aもパネル上は“AD-8117”となっています。
底面の銘板には“AD-8117A”としるされています。

2 取扱方法

2.1 準備

2.1.1 入力を選択

出荷時はRS-232C用となっています。カレント・ループで御使用でない時には切替は必要ありません。

注) 電池をぬいた (ACアダプタは接続しない) 状態で始めます。

- (1) 裏ブタのネジ2本をはずす。
- (2) 裏ブタのネジのついていた側を持ち上げる。
- (3) 裏ブタをはずす。

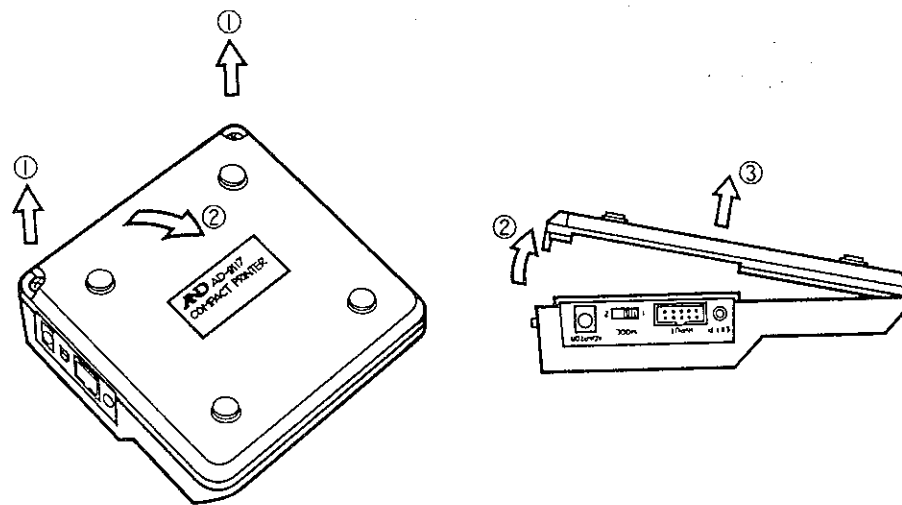


Fig.2

- (4) ボード左下のスイッチをスライドさせて切替える。
- (5) 裏ブタの凹みをケースの突起に合わせる。
- (6) 裏ブタをしっかりとぶせ、ネジ2本で締める。

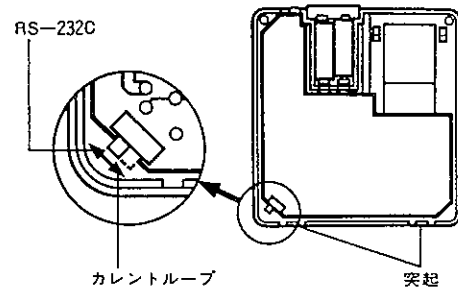


Fig.3

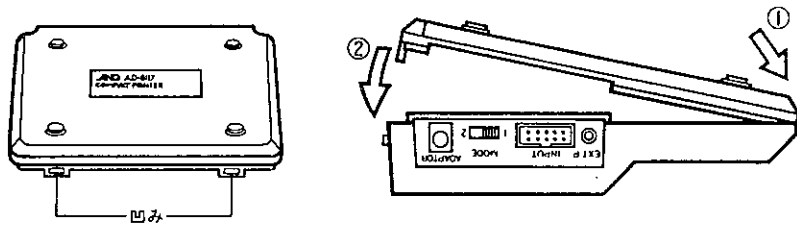
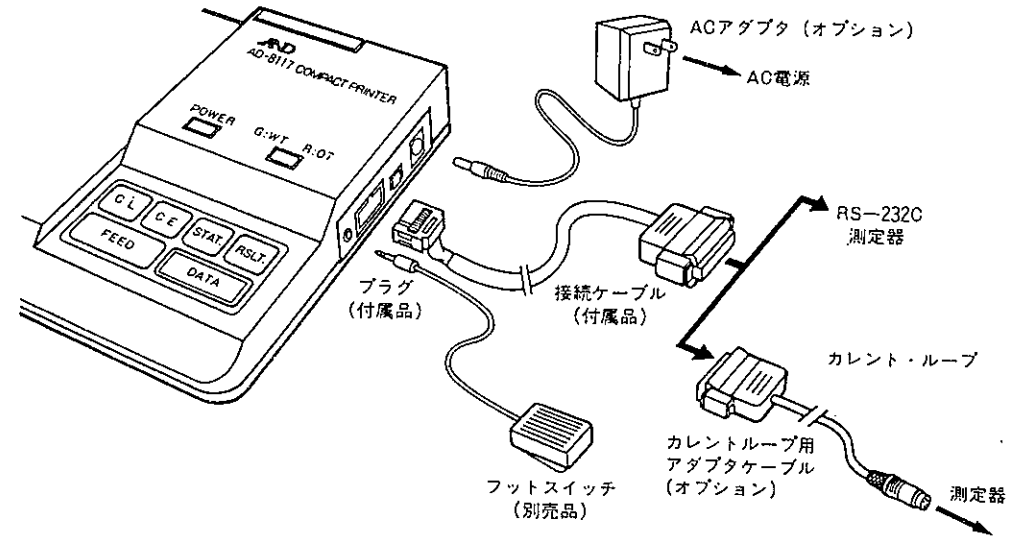


Fig.4

2.1.2 接続

接続する前に、AD-8117(A)の電源がOFFであることを確認して下さい。



(1) 測定器との接続

付属の接続ケーブルを Fig.5 に示すように入力コネクタにさし込んで下さい。(ケーブルが下向きとなるよう注意して下さい。)

RS-232C入力の際は接続ケーブルの他端を測定器のコネクタに接続します。

カレント・ループ入力の際は、カレント・ループ用アダプタケーブル(オプション)を用いて測定器に接続します。

注) FVシリーズと接続する場合は、専用の接続ケーブルが必要です。

測定器の伝送速度を2400ボーに設定して下さい。

(2) ACアダプタの接続

AC電源を使用する場合はオプションのACアダプタを Fig.5 のように接続します。(ACアダプタは必ず弊社指定のものを御使用下さい。)

(3) フットスイッチの接続

データの取り込みをフットスイッチで行う場合は付属のプラグに別売のフットスイッチ(SW:128)を接続し Fig.5 のようにEXT. P.に接続して下さい。

2.1.3 電源の供給

AD-8117は、乾電池でもAC電源でも動作します。両方ともセットされていても、スイッチで示されたものから電源が供給されます。

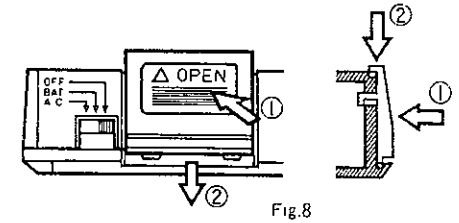
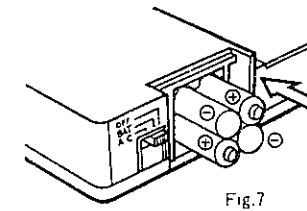
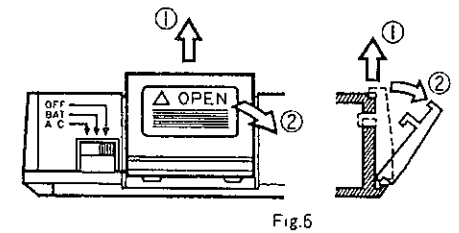
(1) 乾電池による電源供給

Fig.6,7,8に従って、乾電池(単Ⅲ4本)をセットします。電源スイッチをBAT.にセットすると電源が供給されます。

① バッテリーボックスを開く。(Fig.6)

② ⊕, ⊖ の方向に注意して乾電池を入れる。(Fig.7)

③ バッテリーボックスを閉じる。(Fig.8)



注意！ 長時間ご使用にならない時は、液もれ防止のため電池を外して下さい。

• 乾電池の交換時期は電源LEDの状態で見分かります。

電源LEDの状態 / Power source LED		電池の状態
印字していない状態 When not printing	プリンタ印字中 When printing	
ON	ON	パワーは十分です。
ON	OFF	やや消耗してきました。 しばらく使えます。
OFF	OFF	電池寿命です。 交換してください。

• 電源をおとさないで乾電池を交換する方法（統計演算の途中などでは便利です。）

- ① 電源スイッチをBAT. にしたまま、ACアダプタをAD-8117 (A) に接続し、AC電源に接続します。
- ② 電源スイッチをAC側に切り換え、乾電池を交換します。
- ③ 電源スイッチをBAT. に戻し、ACアダプタを抜きます。

(2) ACアダプタによる電源供給

ACアダプタをFig.5のように接続し、電源スイッチをAC側にすると電源が供給されます。

2.1.4 記録紙のセット

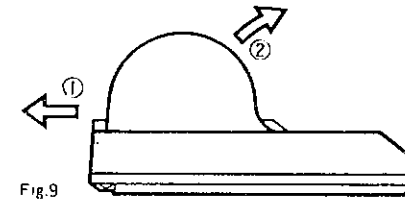


Fig.9

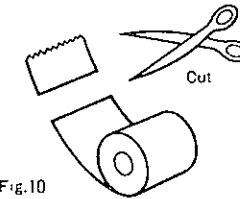


Fig.10

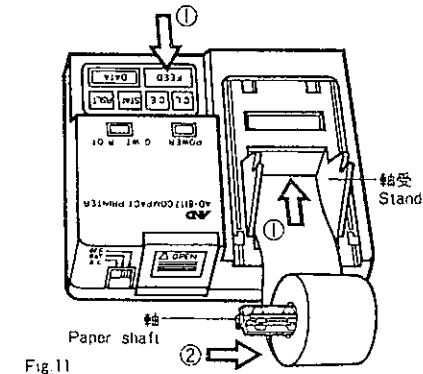


Fig.11

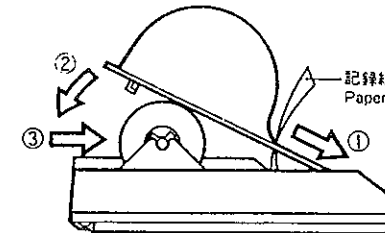


Fig.12

• 記録紙は弊社指定のもの (WP:PP128) をご使用下さい。そうでない場合、紙づまりの原因になります。
• 記録紙をセットしていない状態でプリンタを起動させないで下さい。

2.2 AD-8117

2.2.1 モード切替

(1) モード1: 測定器より送られて来るデータをすべて印字します。

測定器の“PRINT”スイッチやオート・プリントを使用する場合に設定します。

(2) モード2: AD-8117の“DATA”スイッチ(または、EXT. P.に接続された外部のスイッチ)を押された直後のデータを印字します。測定器の側は“ストリーム・モード”に設定します。

注) 正しく数値として印字されるのは、測定値が安定している時のデータだけで、不安定時やオーバ時には“*”が印字されます。

2.2.2 キースイッチの動作

(1) CL (クリアキー)

メモリーされている統計演算データをすべてクリアします。

(2) CE (クリアエンターキー)

統計演算時に誤って入力されたデータを取消し“*CANCEL”と印字します。

(3) STAT. (統計演算切替キー)

統計演算の対象を切替えます。

(4) RSLT. (統計演算結果印字キー)

統計演算の結果を印字します。

(5) FEED (紙送りキー)

押している間紙送りをします。

(6) DATA (データ入力キー)

モード2で測定値の印字、統計演算データの入力を行います。

モード1では無効です。

2.2.3 印字データ

印字データは種類を示すためアルファベット2文字と数値、単位で構成されます。

ボーレート設定やケーブル接続の誤りやモード2で“DATA”キーを押した時データが送られていない場合には、コミュニケーションエラーとなります。

重量	WT	+123.456	g
NET重量	NT	+6432.15	kg
GROSS重量	GS	+9876.50	t
TARE重量	TR	+200.55	g
単位重量	UW	+15.203	mg
個数	QT	+20000	PC
総個数	QQ	+6543210	PC
不安定データ		*	
コミュニケーションエラー		*C ERROR	

2.2.4 統計演算

AD-8117は統計演算として、次の各値を印字することができます。

N : 測定個数 (最大999)

TOTAL : 総合計

MAX : 最大値

MIN : 最小値

\bar{X} : 平均値

σ : 標準偏差

$$\sigma = \sqrt{\frac{N \cdot \sum (X_i)^2 - (\sum X_i)^2}{N(N-1)}}$$

R : 測定値の範囲

使用方法

(1) “CL”キーを押し、メモリーをクリアします。

メモリー内に前回測定結果が残っている場合だけ“*CLEAR”と印字されます。

(2) “STAT.”キーで演算の対象を選択します。

演算の対象はLEDで示されます。

緑点灯時: 重量値が対象となります。

赤点灯時: 計数値が対象となります。

(1) *CLEAR

(3) No.001

WT +178.632 g

(5) WT +22.481 kg

No.002

WT +178.668 g

No.003

WT +178.654 g

(5) WT +178.6537 g

消灯時は統計演算を行いません。

"STAT." キーを押すごとに変化します。

- (3) データ入力すると、サンプルナンバーが自動的に付けられ印字されます。
- (4) 誤ってデータを入力した場合は "CE" キーを押します。" *CANCEL " と印字され、直前のデータが消去されます。
- (5) 小数点位置や単位が最初に入力されたデータと異なる場合は、印字はされますが演算からは除外されます。
- (6) 演算結果が必要な場合は、" RSLT. " キーを押します。N および TOTAL が印字されます。
- (7) もう一度 " RSLT. " キーを押すと、その他の結果が印字されます。
- (8) 継続して演算を行う場合はそのままデータを入力してください。
- (9) データ数は最大 999 個です。1000 個目のデータが入力されるとそれまでの演算結果を印字し、メモリをクリアします。1000 個目のデータは 1 個目のデータとして新しく入力されたこととなります。

```

No.004
WT +178.596 9
(4) *CANCEL
No.004
WT +178.640 9
No.005
WT +178.599 9
(6) N 5
TOTAL
893.193 9
(8) No.006
WT +178.623 9
No.007
WT +178.647 9
(6) N 7
TOTAL
1250.463 9
(7) MAX 178.668 9
MIN 178.599 9
x̄ 178.638 9
σ 0.0224 9
R 0.069 9

(9) No.997
WT +247.619 9
No.998
WT +247.461 9
No.999
WT +247.330 9
N 999
TOTAL
247633.824 9
MAX 248.900 9
MIN 247.131 9
x̄ 247.882 9
σ 0.5143 9
R 1.769 9
No.001
WT +247.190 9
No.002
WT +247.633 9

```

2.3 AD-8117A

AD-8117Aは伝送されるデータをそのまま印字するダンプ・プリンタです。データはASCIIコードで、下のキャラクタが印字可能です。

AD-8117Aでは、"FEED" キー以外のキースイッチはすべて無効で、モードスイッチ、EXT. P. ジャックも機能しません。

1行に印字できる文字は16文字までで、17文字以上になると16文字までを印字し、改行します。17文字以後のデータは無視されます。また、1行を印字した後、次のデータを最初から欠落なく印字するためには、データ間のインターバルを1.1秒以上とるようにしてください。

注) AD-8117Aの本体パネルは、AD-8117Aとなっておりません。

底面の銘板にAD-8117Aと書かれています。

```

** COMPACT **
** PRINTER **
** AD-8117A **
** CHARACTER **

```

```

!"#$%&'()*+,-./
0123456789:;<=>?
@ABCDEFGHIJKLMNO
PQRSTUVWXYZ[\]^_
`abcdefghijklmnopqrstuvwxyz{}`

```

3 仕様

3.1 一般仕様

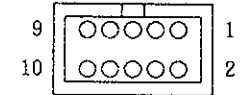
型式名称	AD-8117, AD-8117A
印字方式	感熱シリアル・ドット方式
文字仕様	5×7ドット 文字高 2.4mm 16文字/行
印字速度	約1.2秒/行
紙送速度	約1秒/行
電源	アルカリまたはマンガン乾電池 (単Ⅲ×4本) ACアダプタ (9V, 500mA)
電池寿命 (20℃)	アルカリ乾電池 約 20000 行連続印字 (RS-232C) 約 16000 行連続印字 (カレント・ループ) (マンガン乾電池の場合はそれぞれ上記の1/2)
使用温度	0~40℃
保存温度	-10~60℃
外形寸法	150×150×78mm (幅×奥行×高さ)
重量	330g (記録紙、乾電池含まず)
記録紙 (PP: 128)	感熱ロール紙 (TP50KS-4AX: 十条製紙) 又は相当品 紙幅38mm 紙厚65μm 最大巻径65mm 全長50m

3.2 入力仕様

RS-232C	またはカレント・ループ (ACTIVE) (スイッチにより切替)
伝送速度	2400 BPS
ビート機構	データ 7 bit EVEN パリティ 1ストップビット
使用コード	ASCII

入力コネクタ	7610-5002SC (3M) または相当品
適合プラグ	3473-6500SC (3M) または相当品

ピンNO.	信号
3	RXD (RS-232C)
7	SG (RS-232C)
9	カレントループ (+)
10	カレントループ (-)
1~2 4~6 8	} NC



4 保 守

4.1 使用上の注意

- (1) 記録紙をセットしないで空のまま印字しないで下さい。
- (2) 記録紙は指定の用紙 (P P : 1 2 8) を御使用下さい。
- (3) 長期間乾電池を使用しない時には、乾電池をぬいて下さい。
- (4) 乾電池の \oplus , \ominus を間違えないで下さい。
- (5) A Cアダプタは指定のもの (オプション 0 2) を御使用下さい。
- (6) 接続ケーブルや A Cアダプタの着脱、乾電池の取替えの時には必ず電源スイッチを O F F 側にして下さい。
- (7) 塵埃の多い場所、高温多湿の場所、水や油のかかる場所、直射日光の当る場所での御使用は避けて下さい。
- (8) 記録紙は、熱、湿気、光、汗や油、薬品、化学樹、粘着テープ、塩ビフィルム、シアゾコピー等により変質することがありますので、取扱い、保存に御注意下さい。
- (9) A Cアダプタはノイズを発生しやすい機器とは別系統の電源に接続して下さい。
- (10) R S - 2 3 2 C とカレント・ループの切換え以外では分解しないで下さい。
- (11) 電源スイッチの切換えは 2 秒以上間隔をあけて下さい。

4.2 保 守

- (1) 汚れは中性洗剤等で軽く拭きとり、有機溶剤などは使用しないで下さい。
- (2) 本機に不具合が生じた時は、もう一度この説明書及び測定器の説明書をお読みになった上で、スイッチの操作、電源の状態、ケーブルの接続を確かめて下さい。